

研究区分	教員特別研究推進 教育推進
------	---------------

研究テーマ	プルーストとラスキンによる『アミアンの聖書』と『胡麻と百合』校訂版作成				
研究組織	代表者	所属・職名	国際関係学部・講師	氏名	浅間 哲平
	研究分担者	所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
	発表者	所属・職名	国際関係学部・講師	氏名	浅間 哲平

講演題目	ラスキンの翻訳者としてのプルースト
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>フランスの作家マルセル・プルースト（1871-1923）は、イギリスの美術史家ジョン・ラスキン（1819-1900）の『アミアンの聖書』（原文 1880-1885, 翻訳 1904）と『胡麻と百合』（原文 1865, 翻訳 1906）を翻訳した。</p> <p>本研究は、ラスキンの英語原文とプルーストのフランス語翻訳を対照し、電子テキスト上で同時に閲覧できるようにすることを目的としたものである。また、プルーストはこの翻訳をするにあたり、序文と註をつけ、ラスキンの他の書物を引用し、当時のラスキン研究の成果に言及している。本研究は、これらのプルーストの引用や言及がどの書物からなされたものであるのかを網羅的に調査することをもうひとつの目的とした。</p> <p>日仏英のプルースト・ラスキン研究の成果を総合的に検証し、これまでの紙媒体ではなしえなかった網羅的な註解を付けたテキストを校訂することを目指し、一定の成果をあげた。</p> <p>今後は、この成果を見やすい形でインターネット上に公開することを考えている。それにあたりウェブ制作の一定の知見が必要であり、今後はどこかから資金を得て専門家の協力で発表するか、もしくは自分でスキルを身につけることで発表するかを模索することにしたい。</p>